

緑化だより

No.70 平成24年 3月号



アテツマンサク 平成23年2月27日撮影

○きのこの味“辛い味のきのこ(2)”

○サクラのあれこれ (11)

○野鳥の世界

○季節の植物

○研修会紹介

○お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

きのこの味

辛い味のきのこ(2) ドクベニタケ(毒紅茸)

きのこの名前を判別する時、その判断材料の一つに“味”があります。生のきのこを少しだけかじってみるのです。味が無いものが多いのですが、中には辛いとか苦いとか酸っぱいものもあります。今月も辛い味のきのこをとりあげます。

ドクベニタケは夏～秋に針葉樹林や広葉樹林に発生します。表面は鮮紅色ですが雨にあうと退色します。表皮ははがしやすいことが特徴の一つです。ひだや柄は白いです。

この肉をかじると非常に辛くしばらく後味が口の中に残るほどです。(かじったきのこは吐き捨ててください)このきのこを生食すると中毒します。生でこういった野生きのこを食べる人はいないと思いますが、生食すると中毒するというきのこは他にもたくさんあるので注意しましょう。外国の中毒例によるとドクベニタケを食べて亡くなられた例もあるようです。傘の赤いドクベニタケに似た種類は多く、味、表皮のむけ方、ひだや柄の色、匂い、胞子紋の色などで区別します。



ドクベニタケ

サクラのあれこれ(11)

樹齢二千年、日本武尊お手植えという「山高神代桜」は山梨県北巨摩郡武川村山高にあります。地上部 2.5m より上は朽ちていますが、根元周が 13.5m、目通り周は 10.7m もあります。

次いで、樹齢千五百年の「根尾谷の薄墨桜」は、26代継体天皇(504年)が植えられたと伝えられ、宇野千代の小説「薄墨桜」でも有名です。根元周 11.5m、目通り周 8.3m、樹高は 23m、枝は東西 32m、南北 29m あり、幹は鉄サビ色をしています。

この幹を沢山の方杖で支えています。シーズンには岐阜駅からの樽見鉄道の終点には、多くの見物客が訪れます。

「三春の滝桜」はしだれでは日本一の巨木です。根元周 10.5m、樹高 10m 余、枝張りは四方に 10m～13m と広がっています。推定樹齢は 800 年。地元の人には千年以上といえます。

滝桜のある福島県田村郡三春町は標高 300m～500m の丘陵地にあり、震災の難を逃れることが出来ました。梅、桃、桜を眺めることが出来ることから名がついたといわれる三春の地は、シーズンには心躍る地となります。

「山高神代桜」「根尾谷の薄墨桜」「三春滝桜」は、いずれもエドヒガンで日本三大桜に数えられます。

ヤマザクラにも長命のものが多く、「狩宿の下馬桜」は特に有名です。

静岡県富士宮市狩宿にあるこのヤマザクラは国の特別天然記念物に指定されています。幹周 8.5m、樹高 35m あり、推定樹齢 800 年といわれています。源頼朝が巻狩りを行なったとき、駒を



庄原市東城町 要害桜

繋いだと言いつたえられており、ヤマザクラでは国内最大級です。

オオシマザクラでは東京都大島町泉津に「桜株」があります。推定樹齡 800 年ですが、幹は枯れており主幹根部のみ 1.5m の高さで残っています。株の周囲は約 8m あり、その枝条から伸びた枝の先が地について、あたかも株立ちのようになっていることから「桜株」と名付けられました。

広島県では庄原市東城町に樹齡が 400 年とも 500 年ともいわれる要害桜や、湯谷エドヒガンがあります。広島市佐伯区にある神原の枝垂れ桜も惹かれます。

庄原市東城町千鳥別尺のヤマザクラは樹齡が 500 年とも 600 年ともいわれており、幹周 4.6m あります。土師ダム円通山神社には、推定樹齡 300 年で幹周 3.6m のヤマザクラがあり、これも見事な花を見せてくれます。

日本の桜は、9つの原種(10 種分類もある)の内、最も長命なのがエドヒガンで、ヤマザクラがそれに続きます。

自然交雑種や交配種は短命とされており、中でもソメイヨシノは 50~60 年といわれます。しかし近年、100 年を越すソメイヨシノが各地で観察されるようになり、管理による長命化が可能なが証明されました。青森県弘前市の弘前城や茨城県土浦市真鍋のソメイヨシノは幹周 5m 以上で、樹齡も 100 年を超えています。

野鳥の世界

オオアカゲラ

オオアカゲラはキツツキの仲間で中国山地では数の少ない貴重な野鳥です。

まだ寒さの残る早春、木々の芽も硬い頃から雄雌が鳴き交わしたり、クチバシで枯木を打って高い音を響かせ、出会いのチャンスを作っています。

枯木を打って響かせる行為をドラミングといい、キツツキの活動基準とされています。

出会った雌雄は枯木の高所を選び、雌雄が交代して穴を掘り、削った木っ端は穴から外に飛ばします。この時の木を打つ音は力強く、ドラミングよりテンポも少し遅く、ゆっくりとした響きです。

ヒナが生まれると餌運びをします。ヒナが小さい時ほど運ぶ回数が多く、成長するに従って回数は少なくなるようです。その時広げた羽根の、白と黒の模様の美しさは格別です。

多くの野鳥が数を減らしている傾向があり、オオアカゲラも育つヒナが少ないことが気になります。これからの季節、どれだけの鳴き交わしが聞けるかが楽しみです。「キョッ・キョッ」と区切りをつけた鳴き声は一度聞いたら忘れられません。

緑化センター内にも、過去に繁殖した巣穴のある枯木が所々に残っていて、好まれる環境が見えてきます。古い巣跡は夜のねぐらに使われたり、ヤマガラ、シジュウカラなど他の野鳥に使われたりして役立っています。

アオゲラ、アカゲラ、コゲラが近い仲間ですが繁殖期は少しずつずれていて競合することはあまりありません。

春は色々な野鳥に出会うチャンスです。



木っ端を飛ばす雄のオオアカゲラ

季節の植物

まだまだ寒い日がありますが、様々な花が咲き始めています。ジンチョウゲが甘い香りを漂わせ、ミツマタ、アセビ、アブラチャン、アオモジ、アメリカハナノキ、アテツマンサク、キブシ、ダンコウバイ、トサミズキ、ヒュウガミズキ、サンシュユ、クロモジなどがかわいい花をつけ、シュゼンジカンザクラ、カンヒザクラ、ウメ、ハナノキ、ツバキ、コブシ、アンズと続きます。



アケボノアセビ

研修会紹介

- 3月 6日(火) 『バードウォッチング』 9:00～12:00 管理事務所前 集合
春の野鳥を観察しよう 講師: 日鳥連会員 吉見 良一
- 3月 11日(日) 『第2回ジャンボシイタケ植菌教室』 10:00～12:00 学習室 集合
ジャンボシイタケを育てよう (定員に達しました)
講師: 日本きのこセンター 入江 淳人
- 3月 25日(日) 『接木・取木教室』 10:00～12:00 学習室 集合
接木や取木のコツを学習しよう (要予約 材料代500円 ナイフ持参)
講師: 樹木医 溝口 幸平太

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

レストハウス・ボード展示

- 緑化センターの四季 写真展 2月24日(金)～3月25日(日)
緑化センターの四季に見られる花の写真展です。

レストハウス・ガラスケース展示

- つまようじを使った手作り作品展 2月 8日(水)～3月28日(水)
つまようじで作った電車、広島城、五重塔などを展示しています。

さくら祭り 4月1日(日)～28日(土)

期間中、早咲きから八重咲きまで約30種類のさくらが楽しめます。又、4月15日は、「さくら祭りイベント」をレストハウス前広場にて行います。

みどりの集い 4月29日(日)

多目的広場にて、みどりの恵みに触れる盛りだくさんのイベントを行います。



つまようじで作った極楽寺

表紙：アテツマンサク(阿哲満作) マンサク科マンサク属

岡山県阿哲地方にちなんでつけられた。花卉、萼ともに黄色が特徴。

仲間にマンサク、マルバマンサク、シナマンサクがある。

マンサクは、煎じて化粧水にしたり、枝をねじって繊維をほぐし縄の代用とされる。